

9. 22 日本軍「慰安婦」問題に関する 日韓交渉／仲裁を前進させる国際シンポジウム

テーマ 日韓両政府は「慰安婦」問題についてどのような交渉を今なすべきか
—国際法の視点から考える—

シンポジウム日程 9月22日(土) 14:00(開場13:30)～19:00

提案者 ウスティニア・ドルゴポール
(オーストラリア・フリンダース大学国際法准教授)
阿部 浩己 (日本・神奈川大学教授)
趙 時顯 (韓国・建国大学法学部教授、Cho Sihyun)
(*各報告内容は、協賛団体と賛同者へ事前メール配信します)
コーディネーター 戸塚 悦朗 (龍谷大学元教授)

特別挨拶 尹 美香 (韓国挺身隊問題対策協議会代表、Yoon Mee-hyang) ほか

会場 東京・星陵会館ホール (22日)

通訳 日・韓・英語の逐語通訳

参加者 法律家、日韓の政府関係者・議員、歴史研究者、市民 (以上、発言可)
参加費 1000円

協賛 韓国挺身隊問題対策協議会 *現在、協賛団体と個人賛同者を募集中
(3頁目の申込み書をご利用ください)

行動 提案者およびコーディネーター4人による提言(日韓両政府宛)を2日
目にまとめ、翌日に日韓両政府へ提出します(記者会見)

主催 日本の戦争責任資料センター

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-28-7 Tel/Fax 03-3204-7477

E-mail jwrc@mua.biglobe.ne.jp